

きほく通信

第102号
令和7年
6月10日
発行

難病
患者家族会
きほく

【会長】神森 和子
紀の川市中三谷
【相談室】080-7456-4940
【事務局】〒649-6612 紀の川市北涌371
森田方 TEL 080-7456-4940



あっちゃんと 田舎坊主の二人展

（事務局）
本会紀の川市難病患者家族会「きほく」は、足かけ20年を迎えます。

しかしながらコロナ禍に加え、会員の病状進行、役員の高齢化、財政の困窮等により運営もままならず、本年度を以て休会を余儀なくされています。

このたび、休会イベントとして結成当初からの会員である神森敦子さんの絵画を展示し、神森和子会長の体験談とともに患者のがんばる姿をご覧いただくという標題のイベントを計画しました。

個展はちょっとというので、設立者、森田良恒の仏画も展示し「あっちゃんと田舎坊主の二人展」を6月7日（土）8日（日）に開催しました。

神森敦子さんは、自己免疫疾患患者で膠原病、橋本病、シェークレン症候群などの患者さんです。

病名がわかるまで30年を要しました。小学校ではいじめにあい、引きこもったこともあります。そのため美術大学を断念した経緯があります。

私がこの計画をした理由は、あっちゃんが話した言葉にあります。

「私が死んだら、全部の絵を波形に折って棺に入れてもらうの。そうすれば波に乗って、雲の波に乗ってお浄土にいくの」と話してくれたからです。

あっちゃんが描かれたたくさんさんの絵を、患者会の仲間はもちろんのこと広く地域の方々に見てもらいたいと思ったからです。

あっちゃんの優しく繊細な絵を見ていただき、患者のがんばる姿を感じていただきたいと思ったのです。

「あっちゃんと田舎坊主の二人展」には一〇〇名を超える多くの方にご来場いただきました。遠くは大阪交野市、門真市、田辺市、美浜町、和歌山市などから足を運んでくださいました。

患者会の仲間の中には目が見えない網膜色素変性症の方々も、あっちゃんの説明を受けながら「心の目」で鑑賞してくれました。

お母さんの神森和子さんの体験談は来場者の心に響き、患者家族の闘いのようすに、中には目頭を押さえる方もいました。

和歌山県や保健所、紀の川市などの担当者も案内なしにもかかわらず来てくれました。最後には和歌山県難病団体



だといってあっちゃんのいとこさんが初日に和歌山市内から、電車でご来場くださったのです。なんとこの方は20年のあいだ神森さんとは連絡不通だった方なのです。

お母さんの神森和子さんは目が不自由になっているため、名前を聞くと驚きとともに抱き合い、あっちゃんと3人の感激の再会ができ実現したのです。

お母さんが「こうして会えたのも森田さんのおかげ」というものですから、「いえいえ読売新聞さんが記事にしてくれて、しかもタイトルにあっちゃんと大きく書いてくれたからです」と話しました。

本日に読売新聞記事掲載のおかげでした。ありがとうございました。



連絡協議会会長の山本功さんから花束が贈られました。

この二人展では一つのドラマがありました。

二人展前日6日（金）に読売新聞和歌山版に記事を掲載していただきました。その記事タイトルに「難病 あっちゃん 絵画展」と書いていただいたことで、その記事を読んだ

二人展を開催して本当によかったと思いました。

上の大作「きじ」は展示中一番大きな作品で、多くの方の目を引きつけていました。

感謝

紀の川市難病患者家族会
きほくチャリティー絵画
**あっちゃんと田舎坊主の
二人展**

平成18年に設立した難病患者家族会「きほく」は、足かけ20年を迎えます。病状の進行、役員の高齢化、財政の困窮等により本年度を以て休会します。

今回、結成当初からの会員である神森敦子さんの絵画を展示し、体験談とともに患者のがんばる姿をご覧いただこうと思います。あわせて設立者、森田良恒の仏画も展示します。

神森敦子
（あっちゃん）
あっちゃんとは自己免疫疾患患者で、いくつもの難病をもっています。母神森和子さんとともに病名がつくまで30年もの闘いをしました。絵を描くのはアトピーの発症で、鳥や花などについてとても得意が得意です。

二人展と体験談のご案内
●日 時：令和7年6月7（土）～8（日）10:00～15:00
●体験談 8（日）13:30～14:00
「あっちゃん親子闘病記」
難病が分かるまで30年間闘った親子の体験談です

●場 所：紀の川市立 麻生津公民館（和歌山）
●入 場：無料（チャリティー有り）
●連絡先：TEL 0735-75-4862 きほく事務局 森田（田舎坊主）

主催：紀の川市難病患者家族会きほく 協賛：麻生津公民館



あっちゃん展示作品(一部)



田舎坊主の仏画(一部)

ご協力ありがとうございました。

